

政策提言への対応状況

中国地方国際物流戦略チーム事務局

2014年3月12日

【2013年度の実施内容】

- ・2013年10月、境港外港中野地区国際物流ターミナル着工記念式典を開催
- ・岸壁ケーソンの製作、泊地(水深12m)の浚渫、埠頭用地の造成

課題

大水深岸壁及び埠頭用地の不足により滞船、横持ち輸送が発生

対応策

大型船に対応した岸壁整備及び埠頭再編

効果

物流コストの削減を通じた地域の経済社会の発展や雇用の確保

- ・整備施設：岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、臨港道路、埠頭用地
- ・事業期間：2012年度～2016年度
- ・事業費：85億円



着工記念式典の様子



泊地(水深12m)浚渫工事の実施状況

【2013年度の実施内容】

- ・2013年6月、竹内南地区貨客船ターミナルの機能や運営手法などを検討する『境港“みなとを核とした官民連携による賑わいづくり”検討委員会』を発足。計4回の委員会開催により、『官民連携による賑わいづくり計画』を策定。
- ・北海道と境港を結ぶRORO船の定期航路化に向けて、2013年度に3回のトライアル輸送を実施
- ・2013年度、貨客船ターミナルの整備に向けた調査を実施中

◆境港“みなとを核とした官民連携による賑わいづくり”検討委員会

【検討委員会の構成メンバー】

〈有識者〉

〈行政〉

国、県、港湾管理者

市町村(中海・宍道湖・大山圏域市長会(5市、大山圏域7町村))

〈民間〉

経済団体、観光団体(協会・NPO等)

民間事業者(港湾、観光、交通などの関連業種)

【開催状況】

平成25年6月～平成26年2月(計4回)

境港の人流・物流を活かした圏域全体の活性化に向けて、圏域一体となった賑わいづくりの方向性や、賑わいづくりの核となるみなと機能のあり方を検討



境港竹内南地区貨客船ターミナル整備を核とした『官民連携による賑わいづくり計画』を策定

◆内貿RORO船の新規就航に向けたトライアル輸送(3回)

【取組内容】

◇第1回 平成25年4月15日～19日

移入品目:原木、農産品 等

移出品目:機械製品、農機、合板、建材 等

◇第2回 平成25年8月13日～17日

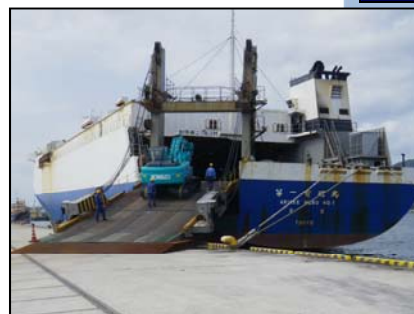
移出品目:原木、農産品、自動車部品 等

移入品目:農機、合板、建材 等

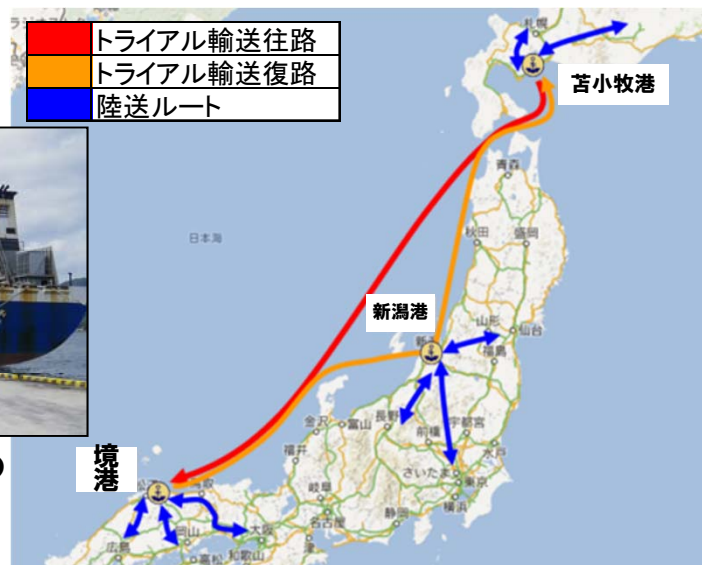
◇第3回 平成25年10月1日～5日

移出品目:原木、農産品、自動車製品 等

移入品目:農機、合板、建材、リサイクル背品 等



トライアル輸送の実施状況



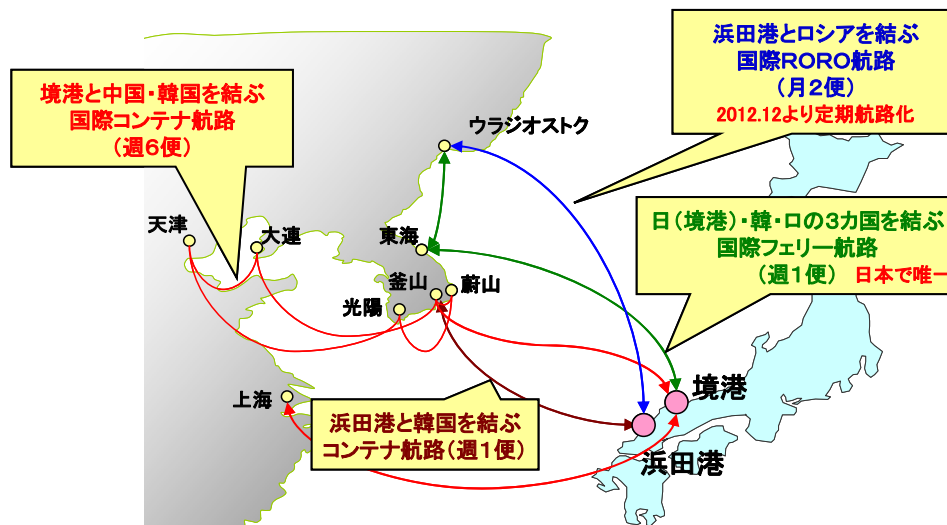
【境港】

- ・1995年7月、中国及び韓国との定期コンテナ航路が開設
- ・2009年6月、境港～韓国・東海(トンヘ)～ロシア・ウラジオストクを結ぶ環日本海国際定期貨客船が就航

【浜田港】

- ・2012年12月、浜田港とロシア・ウラジオストクを結ぶ国際RORO航路の定期化(月2便)

◆境港・浜田港と対岸諸国を結ぶ航路ネットワーク



浜田港:FESCO社RORO船



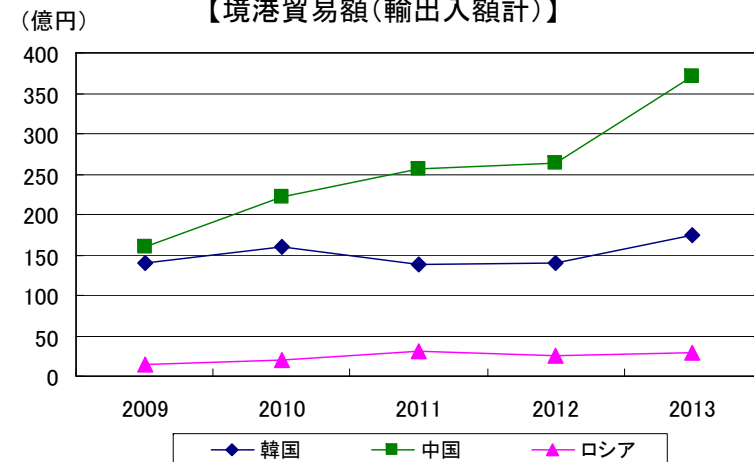
写真: 浜田港振興会HPより

境港:DBSクルーズフェリー

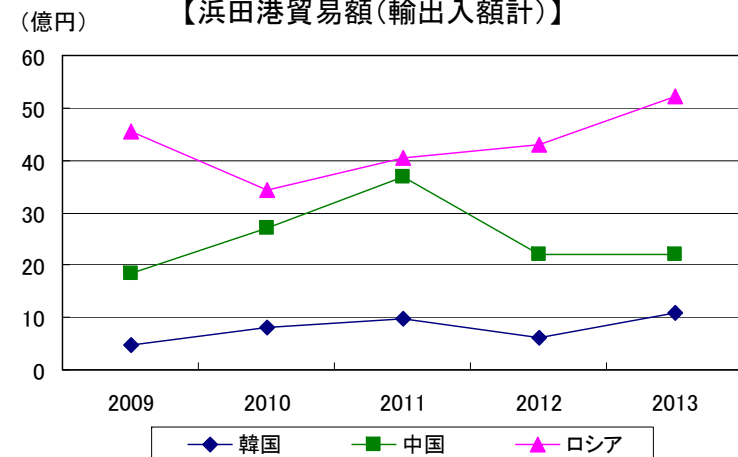


写真: 中国地方整備局撮影

【境港貿易額(輸出入額計)】



【浜田港貿易額(輸出入額計)】

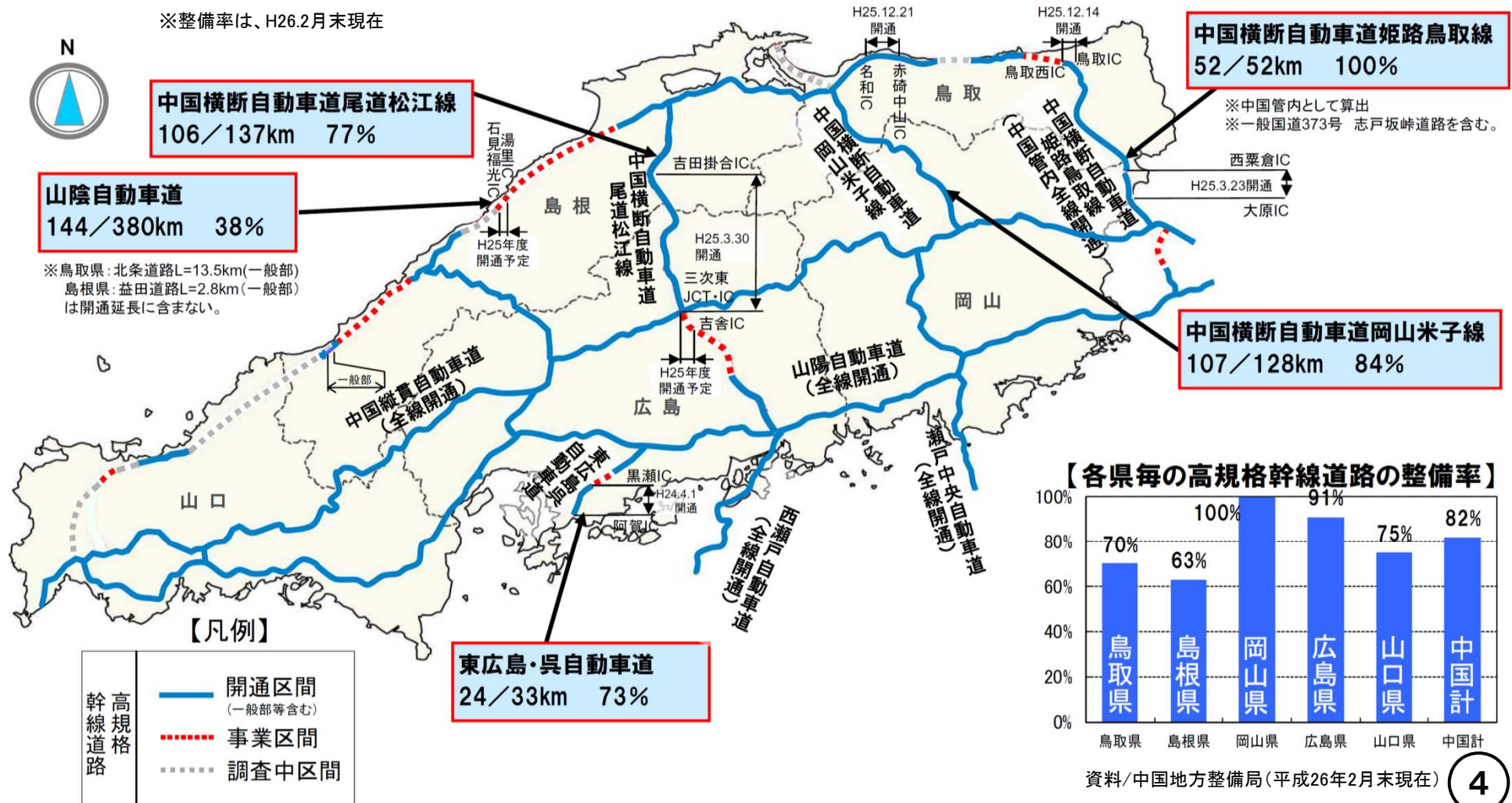


出典:『財務省貿易統計』

高規格道路の整備状況

- 中国地方の高規格幹線道路の整備率は82%。そのうち、山陰道は38%の整備状況。
- 2013年度、鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC:約2km)、中山名和道路・名和淀江道路(赤碓中山IC～名和IC:約9km)が開通。
- また、中国横断自動車道尾道松江線(吉舎IC～三次東JCT・IC:約10km)、仁摩温泉津道路(湯里IC～石見福光IC:約6km)が開通予定。

※整備率は、H26.2月末現在



【2013年度の実施内容】

- ・2014年2月、浜田港福井地区臨港道路整備事業着工記念式典を開催

課題

慢性的な渋滞の発生と大規模災害時の輸送路の確保

対応策

臨港道路福井4号線の整備

効果

- ① 高速道路とのアクセス強化による物流コストの削減
(国道9号等の渋滞軽減にも寄与)
- ② 大規模地震発生の際にも求められる物資輸送ニーズに対応
- ③ 利用企業の更なる投資や雇用の確保に貢献

- ・整備施設：臨港道路 福井4号線 (2車線×1,500m)
- ・事業期間：2012年度～2017年度
- ・事業費：39億円



着工記念式典の様子

港湾法の改正内容

国土交通大臣による特定貨物輸入拠点港湾の指定

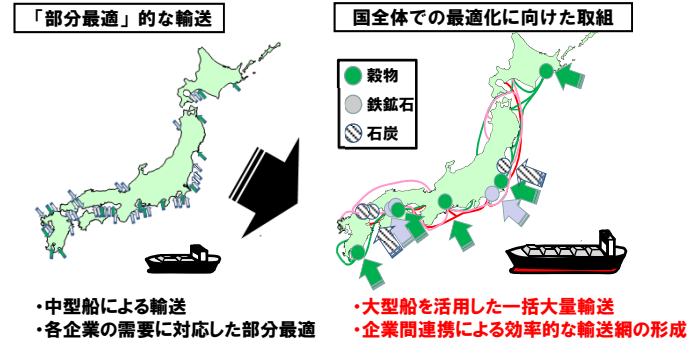
- ◎指定の要件
- ・輸入ばら積み貨物の取扱量が相当程度見込まれること
- ・一定規模の埠頭を有すること
- ・企業間連携を促進する体制が整っていること 等

特定貨物輸入拠点港湾の港湾管理者による 特定利用推進計画の作成

合意形成

協議会 (港湾管理者、民間事業者等で構成)

●輸入ばら積み貨物の効率的な海上輸送網の形成(イメージ)



特定利用推進計画の実施に係る支援措置

特定貨物取扱埠頭の機能の高度化に係る支援措置

港湾区域、臨港地区内の
工事の手續等の特例
(港湾法の特例)

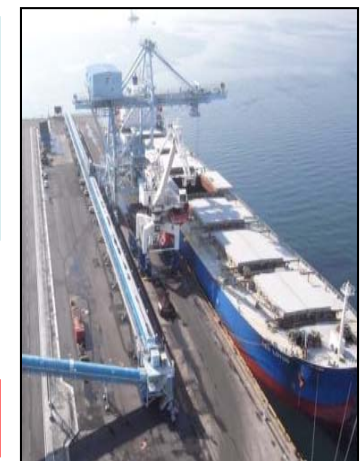
事業実施の迅速化

※地方税法等に基づく措置
税制特例措置等
(高能率な荷役機械等の取得に係る固定資産税・都市計画税の特例等)

高能率な荷役機械等の整備を促進

海上運送の共同化の促進に資する荷さばき施設等の整備、管理に関する協定制(共同化促進施設協定制)

民間施設の共同利用等を促進



コンテナターミナルの運営の効率化（水島港の事例）

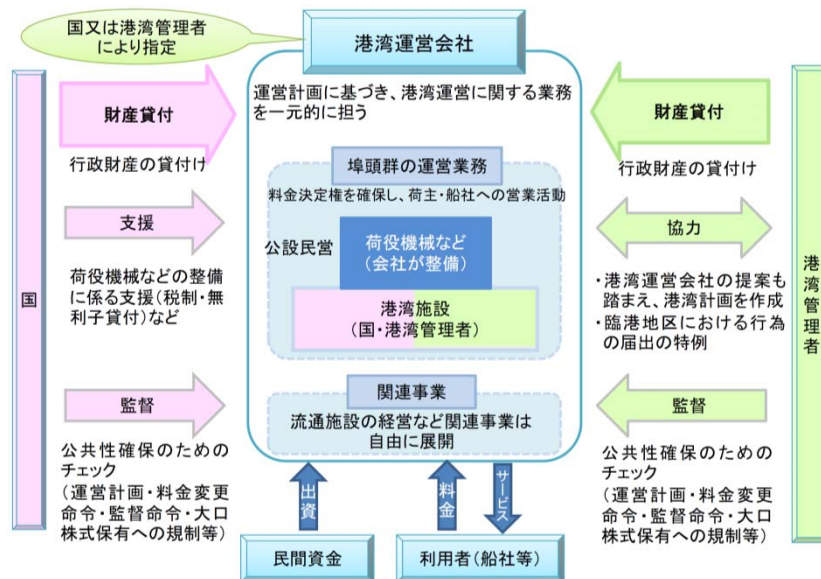
- ・2012年7月、港湾の一体的かつ効率的な運営の促進を図るため、水島港港湾計画を変更
- ・2014年1月、水島港において、国際拠点港湾(18港)では全国初となる港湾運営会社を指定
- ・2014年4月1日より民の視点による効率的な港湾運営を開始(予定)



【指定までの経緯と予定】

- 2012年 7月27日 水島港港湾計画一部変更
(効率的な運営を特に促進する区域(港湾運営会社))
- 2013年10月11日 港湾運営会社指定申請
- 2013年12月19日 水島港港湾管理者より国土交通大臣同意申請
- 2014年 1月16日 国土交通大臣同意
- 2014年 1月20日 水島港港湾管理者にて港湾運営会社の指定
(水島港国際物流センター株式会社)
- 2014年 4月 1日 港湾運営を開始(予定)

メモ : 港湾運営会社制度



港湾の国際競争力の強化、港湾運営に民の視点を取り込み、より一層の効率的な運営を図るため、平成23年3月の港湾法改正により、国際戦略港湾及び国際拠点港湾におけるコンテナターミナル等の運営に関する業務を一体的に担う『港湾運営会社』制度が創設。

【港湾運営会社の指定による主なメリット(国際拠点港湾の場合)】

①行政財産の貸付

国際拠点港湾において、その最も重要な事業基盤であるコンテナターミナル等を構成する行政財産(国有港湾施設、港湾管理者が所有する港湾施設)の貸付を受けることができるようになり、当該港湾のコンテナターミナル全体の一体運営が可能となる。

②無利子貸付制度

港湾運営会社が行う港湾施設の建設又は改良について、国等から無利子貸付制度による支援が可能となる。

【2013年度の実施内容】

- ・2013年、耐震強化岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、埠頭用地、荷役機械が供用開始
- ・玉島東航路(水深12m)、臨港道路の整備を推進中

課題

- ①水島地区と玉島地区を結ぶ経路が慢性的に渋滞
- ②国際コンテナ貨物の増加と船舶の大型化への対応
- ③大規模地震発生時にも、継続的に産業活動を行うための物流機能の確保

対応策

- ①臨港道路(橋梁)の整備
- ②国際物流ターミナル(水深12m)(耐震)の整備

効果

- ①水島と玉島地区間の臨港交通機能の強化による輸送コストの削減
- ②大型船の活用による輸送コストの削減
- ③大規模地震発生時にも物流機能を維持し、継続的な産業活動に貢献

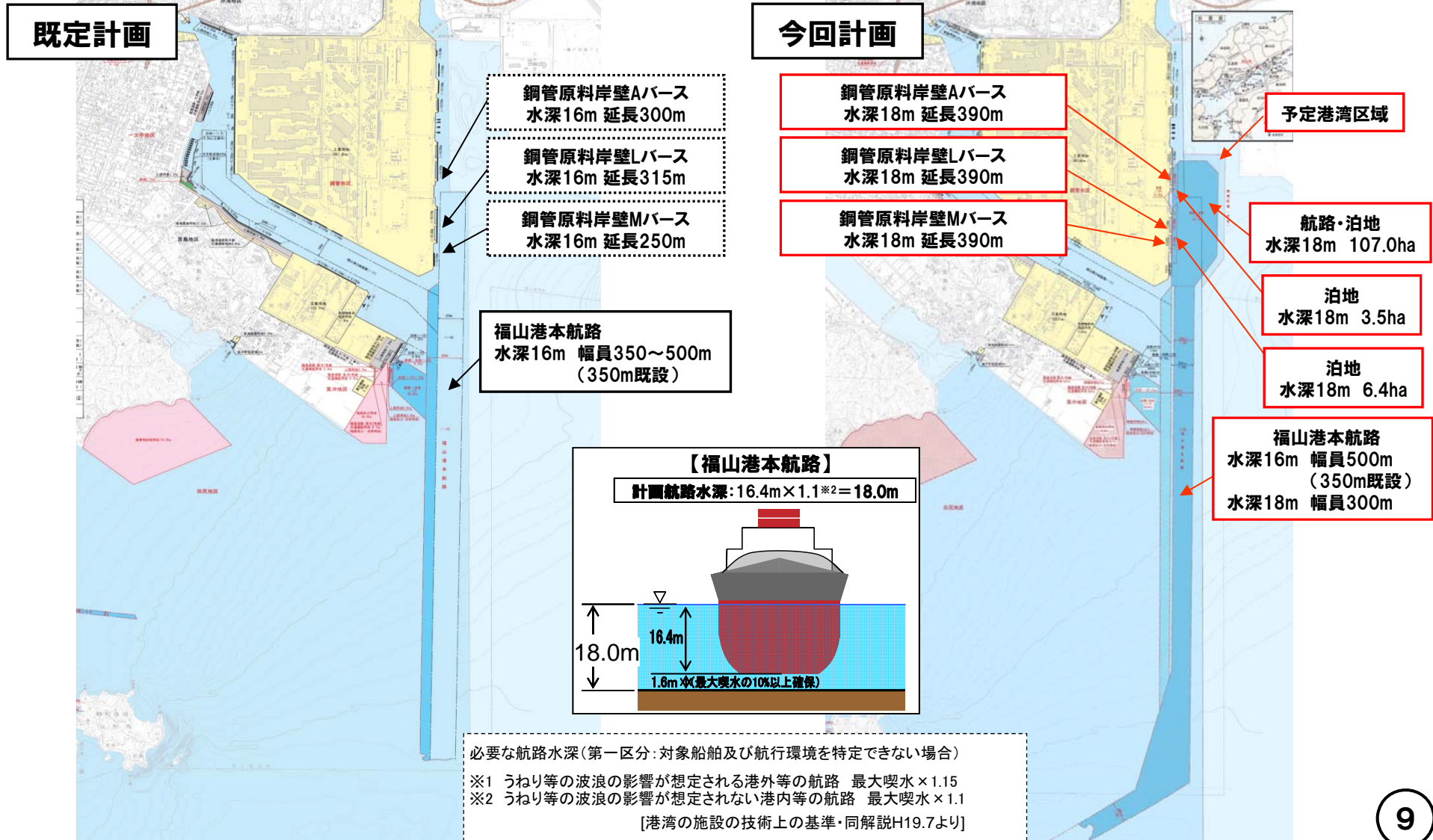
- ・整備施設：岸壁(水深12m)(耐震)、泊地(水深12m)、玉島東航路(水深12m)、埠頭用地、荷役機械、臨港道路
- ・事業期間：2008年度～2017年度
- ・事業費：560億円



供用開始した岸壁・荷役機械での
コンテナ船の荷役状況
(写真提供：岡山県)

【2013年度の実施内容】

- ・2013年7月、国際バルク貨物である鉄鉱石を輸入している福山港鋼管地区において、船舶の大型化に対応するため、専用埠頭計画、水域施設計画等の一部を変更



- ・広島港出島地区にある「広島港国際コンテナターミナル」は水深14m岸壁を有する中四国最大級のコンテナターミナルで、年間約10万TEUのコンテナ取扱貨物量を誇る広島港のコンテナ物流拠点である
- ・2013年3月、「広島港国際コンテナターミナル」の背後地に、小口混載貨物(LCL)の荷捌きが円滑に行われるためのCFS(コンテナ・フレート・ステーション)が完成
- ・「広島港国際コンテナターミナル」との一体利用により利便性の向上が期待される



(写真提供:株式会社 広島港湾管理センター)

広島港新国際CFSの概要



(写真提供:広島県)

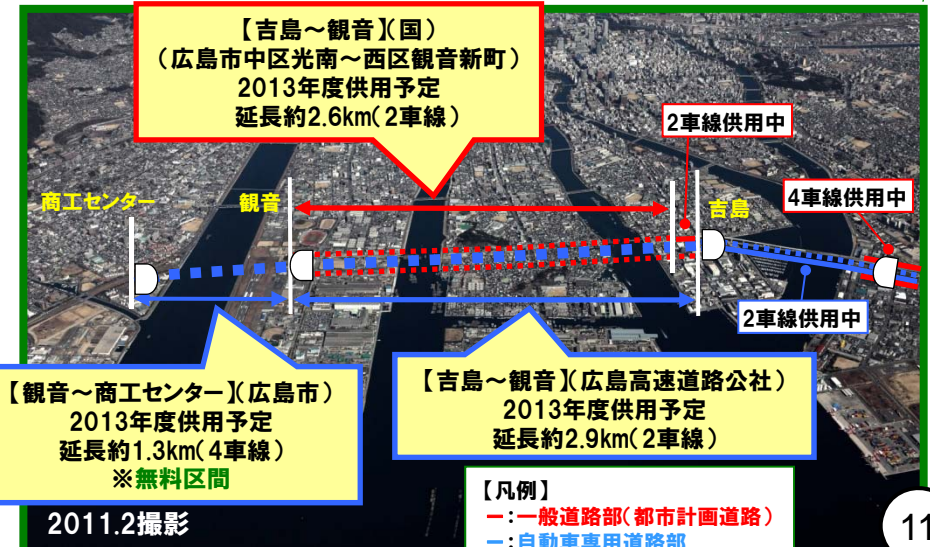
敷地面積	約3.8ha
構造	鉄骨造 平屋建
床面積	21,000㎡
荷捌き地	約12,000㎡
事務所棟	2棟(床面積約330㎡)

メモ :エコロジーへの取組

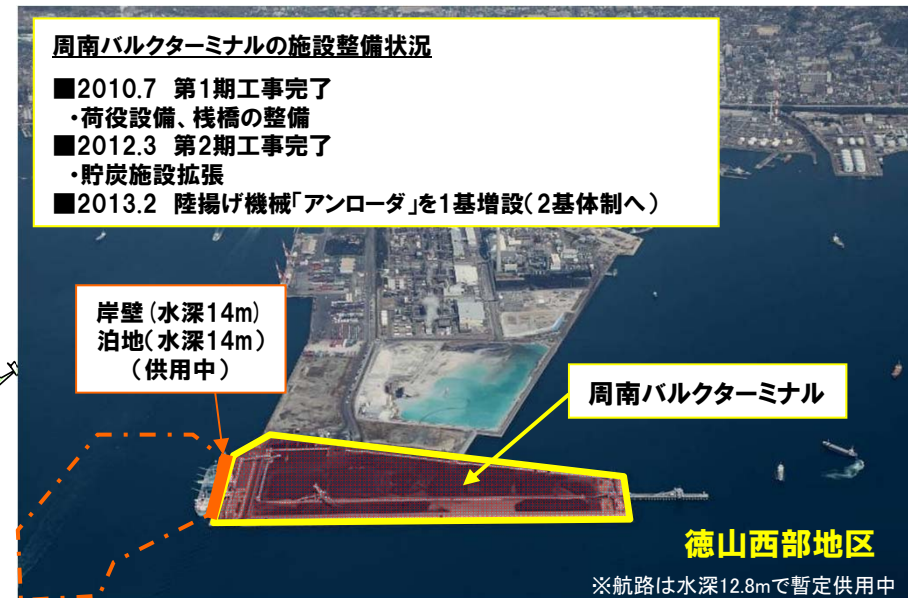
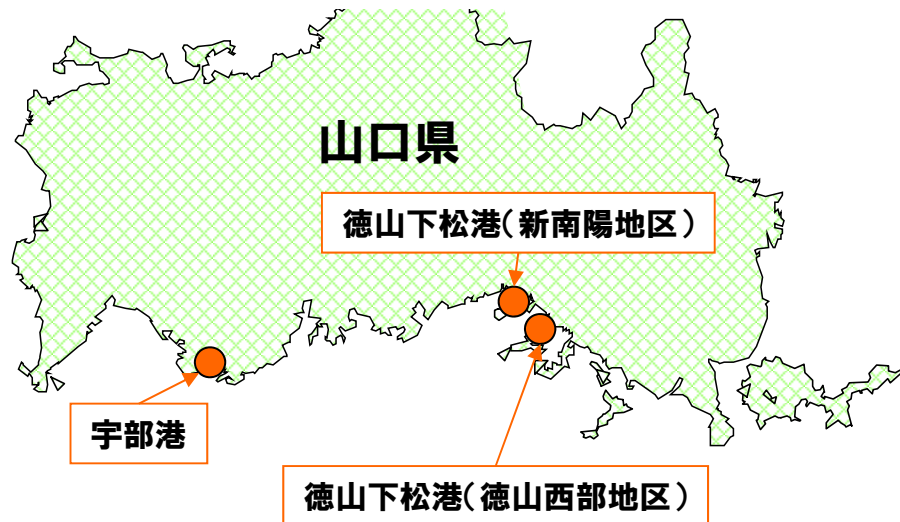
- ・2012年7月から経済産業省により導入された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用し、CFSの屋根に発電出力1,500KW(一般家庭約500世帯分)の太陽光パネル(約7,400枚)を設置し、地球温暖化防止及び再生可能エネルギーの導入促進に寄与

【2013年度の実施内容】

- ・国、広島県、広島市、広島高速道路公社が連携し、整備促進中
- ・2013年度、広島南道路の一般道路部吉島～観音区間、自動車専用道路部吉島～商工センター区間が供用開始予定



徳山下松港 周南バルクターミナルの整備



宇部港(本港地区)航路・泊地整備事業



徳山下松港(新南陽地区)国際物流ターミナル整備事業

